サイクル･エイド事業

平成 27 年度　事業報告書

自転車がつなぐ国際交流　カンボジア

公益社団法人 アジア協会アジア友の会

≪目次≫

1．事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

２．公益法人 アジア協会アジア友の会について・・・・・・・・・・・・・・　２

３．平成２７（２０１５）年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
（１）自転車の寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（２）事業推進のための広報活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（３）国際交流プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

◆サイクル･エイド事業　写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

【資料】

サイクル･エイド支援会議　規約・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
サイクル･エイド支援会議　委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
サイクル･エイド事業の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
サイクル･エイド事業実績の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

１．事業の概要

「放置自転車を再生し、世界の子どもたちに贈ろう！」を合言葉に誕生したサイクル･エイドは、放置自転車を府内市町村の協力のもと、修理、再生し、海外の子どもたちに贈る事業である。

大阪府内の放置自転車の数は、年間 50 万台に上り、うち約半数は引き取り手がないために大きな社会問題、環境問題となっている。一方、アジアやアフリカでは学校の数が十分でないため、長時間歩いて学校に通うか、遠すぎるために通学できない子どもたちが数多くいる。

こうした子どもに自転車を贈ることで、教育環境の向上などに寄与し、国際交流の絆を深めることをこの事業の目的とする。放置自転車を修理、再生し、リデュース･リユース･リサイクルの好循環によって、大阪府内の環境負荷を軽減し、資源循環型社会に向けて地球環境に優しい自転車の活用を促進することを目指す。

2005 年度より、本会が事務局として事業を実施。大阪府等がメンバーとなったサイクル･エイド支援会議を設置し、事業を円滑に進めていくようサポートしている。

（参考：資料「サイクル･エイド支援会議規約」
「サイクル･エイド支援会議委員名簿」）

２．公益社団法人アジア協会アジア友の会について

公益社団法人アジア協会アジア友の会は、アジアに暮らす人々のネットワークを通じて「貧困なきアジア共同体」の形成を目指す、国際民間協力団体(NGO-Non Govermental　Organization)である。生命にとって最も大切な水、飲料水の欠乏が深刻なアジアに井戸を贈る運動として 1979 年に発足した。

現在、それぞれの地域に見合った活動をよりきめ細かに行うために、アジア 18 ヶ国 68 ヶ所にある現地提携団体とネットワークを形成し、その中央事務所を大阪においている。

アジアの人々との「理解と協力と連帯」を目指して、安全な飲料水(井戸)供給のほか、植林、教育、生活向上などの様々な自立開発協力事業、各国ボランティア団体の育成、国際交流活動(ワークキャンプ等)の推進、国際理解教育、また地球の自然環境保全活動を主たる事業として活動している。

３．平成 27（2015）年度事業報告

（１）自転車の寄贈

◆自転車の提供　計 703 台

放置自転車を収集するために、府内各市町村へ協力の呼びかけを実施。今年度は下記の 5 市から協力を得ることができた。回収された自転車は各市で選別、修理、再生後に泉大津市にある堺泉北港へ運搬され、海上輸送された。

◆府内協力市及び台数

堺市　204 台、八尾市 209 台、阪南市 100 台、
泉大津市 90 台、大阪市 100 台

平成 27 年度はフィリピンに 353 台、カンボジアに 350 台、合計 703 台の自転車が寄贈された。事業開始以来、アジア、アフリカの 10 ヶ国に合計 29,323 台の自転車を贈ることができた。

フィリピン　　353 台

フィリピンに贈られた自転車は、KALIPI（注 1）が現地受け入れ団体として調整をおこない、ヌエバエシハ州カビアオ町の子ども達の通学に加え、医療従事者の巡回、貧しい農民、自警団に手渡され、有効に活用されている。

12 月 10 日にはサンタイサベル小学校とバゴンゴシカット小学校で自転車贈呈式典が行われ、町長から子ども達へ 1 台ずつ自転車が手渡された。また 1 月 7 日にはサンフェルナンドノーテ小学校、エンタブラオ小学校で自転車贈呈式典がおこなわれ、多くの村人たちが集まった。

式典では“自転車を教育・健康・安全”のために有効活用し、地域の教育や福祉環境の向上に市民一丸となって協力し取り組むことについて話し合われた。贈られた自転車によって、それまで毎日通学することができなかった子ども達が通学できるようになり、また仕事の効率化、生活の改善をも可能にし、村人たちが自立への第一歩を踏み出せるようになった。また、貧しい人々が安定した生業をもつことで、地域で意識を変え、協力しながらよりよい町づくりが進められている。

NGO、行政、村人、学校の先生、保護者等が世代、国境を越えて協力していくよいきっかけとなった。

フィリピン

ヌエバエシハ州

フィリピン寄贈先　地図

※注１

◆カリピ財団（KALIPI Foundation）

代 表 者：ジミー･クナナン氏

所 在 地：フィリピン･ルソン島ヌエバエシハ州サン･レオナルド

活動範囲：フィリピン･ルソン島ヌエバエシハ州サン･レオナルド周辺

基本的目標：地方の貧しい人々の生活の向上と村の開発

【沿革】 KALIPI はタガログ語で、「同じ種族、人種、同胞」という意味を持つ。1984 年に KALIPI 財団の前身の AFS フィリピンに参加。困窮した田舎の地域に、安全な飲み水を供給する深井戸を本会の協力を得て寄贈する計画を実行。環境保全、人材育成の分野において、農村地区の自立へ向けて幅広い活動を行っている。

【活動】井戸建設、植林プロジェクト、豚の銀行プロジェクト、人材育成事業、地域開発・環境保全等

カンボジア　　350 台

カンボジアに贈られた自転車は、KAFS（注2）が現地受け入れ団体として調整をおこない、学校に通う子ども達や女性たちを中心に寄贈され、通学や仕事のために活用されている。

3月14日にはタケオ州で自転車贈呈式典が行われ、ソクアン・クラウ高校やソムダック・コンサイン・プレイブエイ高校、ソフクワ・プレンゾンダイ高校、トム中学校、トラム小学校の子ども達に合計100台の自転車が贈られた。贈呈式には日本からも5名参加し、事業の趣旨説明、寄贈者からのメッセージ等を伝えた。

また、国際交流プログラムが行われ、受益者、コミュニティワーカー、先生、保護者の間で、様々な意見交換がおこなわれた。

自転車の利用で地域の女性たちが効率よく生活環境を変えていくことにより、女性の社会進出や地位向上へつながっている。また、勉強を続けたいが、家庭の経済的状況のため進学をあきらめていた小・中・高校生の子ども達にも配布され、毎日安全に通学し、継続した教育を受けることができるようになった。

自転車の寄贈には、公平にまたより必要とされている人々に贈れるよう、政府、現地 NGO(KAFS)、村の組織等で協力体制をとりながら、取り組んでいる。KAFS スタッフが各家庭を 1 軒ずつ訪問し、家庭の状況を調査してから受益者を決定し、安全に管理して通学できるよう指導している。

自転車をシアヌークビルの港からタケオ州までの陸路を移動させるのには、多くの人々の協力によって可能となった。

※注 2

◆クメール･アジア友の会＝KAFS (Khmer Asian Friendship Society)

会　長：セン･リム･ネウ氏（内閣官房事務次官）

所在地：カンボジア･プノンペン

活動地域：タケオ州、コンポンチュナン州、コンポンスプー州、
カンダール州周辺

基本的目標：国家復興に向けた農村開発事業を通じての自立支援

【沿革】KAFS は 1994 年にカンボジアにおけるアジア協会アジア友の会の提携団体として発足。事務局長のロン･チョーン氏が外務次官ウン･シアン氏(当時)の推薦で、インドにおいて開催されたアジア国際ネットワークセミナーに参加したのがきっかけとなり、設立に至った。

【活動】井戸建設、教育支援、少額貸付、牛の銀行、グリーンスカウト運動等

THAILAND
LAOS
VIETNAM
Gulf of Thailand
Phnom Penh
プノンペン特別市
タケオ州
Cambodia
International boundary
Province boundary
National capital
Province capital
Railroad
Road
Trail
0 25 50 Kilometers
0 25 50 Miles
Boundary representation is not necessarily authoritative. Names in Vietnam are shown without diacritical marks.
Base 801647 (B00998) 2-91

カンボジア寄贈先　地図

（２）事業推進のための広報活動の実施

① 事業 PR 用パネル・パンフレットの活用

事業の説明や写真を載せたパネルやパンフレットを活用し、イベント等で広く一般への広報活動をおこなった。

② 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 HP による情報発信

http://jafs.or.jp/action/cycle-aid/

大阪府 HP による情報発信

http://www.pref.osaka.lg.jp/kokusai/cycleaid/

③ 広報媒体による情報発信

JAFS 機関紙「アジアネット 126 号」に掲載し、協力者をはじめ様々なプログラムで配布し、活動について紹介した。

④ 各種イベントとの連携、企業への協賛金依頼

大阪府自転車軽自動車商業協同組合からは修理キットの無償提供、港までの運搬のご協力をいただいた。

さらに下記イベントにおいてサイクル･エイド事業の活動紹介を行い、募金活動、協力の呼びかけ等を実施した。

サイクル・エイド関連国内プログラム

■泉大津フェニックス野外コンサート

日程：2015 年 8 月 29 日(土)、30 日(日)、9 月 5 日(土)、6 日(日)

場所：泉大津フェニックス

主催：泉大津フェニックス夏フェス 15 実行委員会事務局

来場者数：合計　約 65,000 人

＜内容＞

泉大津フェニックスが誕生した新しい町「夕凪町」では、空と海、そして全面芝生という心地よい空間で、野外コンサート等各種イベントが開催されている。今年度は 8 月 29 日、30 日に RUSHBALL2015、9 月 5 日、6 日 OTODAMA'15～音泉魂～が開催され、多くの音楽ファンを魅了した。コンサート主催者の多大なる協力のもと、会場内のブースでサイクル･エイド事業の活動紹介とチャリティバザーをおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

■四條畷市民の集い

日程：2015 年 10 月 25 日(日)　場所：四條畷市

主催：市民憲章推進協議会

＜内容＞

第 41 回市民の集いの会場で、、サイクル・エイド事業の広報活動として展示と活動紹介をおこなった。また、アジアの民芸品や飲食の販売をおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

■サイクル･エイド募金箱の設置

再生自転車の海外輸送費を確保するため募金箱を設置し、寄付の呼びかけを行った。

日程：2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

場所：大阪府パスポートセンター本所

■平成 27 年度サイクル･エイド支援会議の開催

日程：2015 年 6 月 11 日（木）10 時～12 時

場所：大阪府庁内　会議室

出席者：11 名

内容：平成 26 年度事業報告、決算、現地状況報告、平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案)、サイクル･エイド事業の今後について会議を行った。

サイクル･エイド支援会議委員長代理の大阪府中谷国際交流課長、同副委員長代理として公益社団法人アジア協会アジア友の会の村上事務局長が、それぞれ挨拶を行い、副委員長代理が議長として議事を進行した。

議題１.「平成 26 年度事業報告、決算」、議題２「平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案)」について、公益社団法人アジア協会アジア友の会の村上事務局長と橋本担当が資料に基づき詳細に説明を行った。次年度の事業計画（案）および予算（案）については、委員、顧問から事業推進に関する意見をいただいた。

寄贈先の状況に関しては JAFS 提携団体である KAFS の代表者であるロンチョン氏をゲストに迎え、カンボジアでの自転車利用状況や活用方法について報告会をおこなった。

変化していく社会情勢の中、自転車の提供、寄附･募金への協力が非常に厳しい状況にある。事業に必要な資金、物資を調達するため、さらなる事業予算の効率かつ効果的な活用を推進するとともに、協力体制を組み、新たな協力を団体や個人に働きかけていくこととなった。

（3）国際交流プログラム

【フィリピン料理教室】

日程：2015 年 4 月 12 日(木)　　場所：クレオ大阪西

参加者：16 名

内容：寄贈国の料理を通じて、楽しく身近にその国を理解できるよう、日本に住むフィリピン人を講師に迎え、料理教室をおこなった。参加者は家庭料理を学びながら、フィリピンの習慣や文化等についても話を聞き、プロジェクトの背景についても知ることができた。

【大阪府表敬訪問・意見交換・事業報告会】

日程：2015 年 6 月 11 日(木)　　場所：大阪府

参加者：11 名

内容：当会提携団体 KAFS の代表者であるロンチョン氏をゲストに迎え、カンボジアでの自転車利用状況や活用方法について報告会をおこなった。現地の声を直接聞くことにより、自転車を必要としている村の様子や子ども達を取り囲む環境についてより深く知ることができた。

【堺市表敬訪問・意見交換】

日　時：2015 年 6 月 11 日(木)

場　所：堺市役所

参加者：8 名

内　容：サイクル･エイド活動報告、意見交換、交流

【サイクル・エイド事業　報告】

日　時：2015 年 6 月 13 日(土)

場　所：大阪科学技術センター

参加者：80 名

内　容：カンボジアにおけるサイクル・エイド事業報告、交流

【第32回土と水と緑の学校　参加】

日時：2015年8月7日(金)～12日(水)

場所：新宮市高田

参加者：139名

内容：環境保全・環境教育プログラムにタイの自転車寄贈先から学生が6名フィリピンから1名参加し、小学3年生～中学3年生の子ども達とともに、地域の環境について学び、互いの文化を知る国際交流プログラムをおこなった。

【カンボジア　国際交流プログラム】
日　時：2016 年 3 月 13 日(日)～17 日(木)
場　所：カンボジア　プノンペン、タケオ州
参加者：約 150 名
内　容：自転車寄贈先であるカンボジア タケオ州で行政・学校（教師・保護者・子ども）・農民等の村人達を対象に、現地提携団体とともに本事業の目的・目指すところ・事業内容等の紹介、説明をおこなった。
本事業に関係する様々な分野の協力者と意見交換を行うことで、今後の事業の必要性や進め方、環境問題についての取り組み、青少年の教育等について話し合うことができた。また、日本とカンボジアの互いの国を知ることで、今後の協力関係もより強固になっていくと思われる。

【第4回美山土と水と緑の自然学校　参加】
日時：2016年3月26日(土)～29日(火)
場所：京都府南丹市美山町
参加者：62名
内容：環境保全・環境教育プログラムにタイの自転車寄贈先から学生が3名参加し、子ども達とともに、地域の環境について学び、互いの文化を知る国際交流プログラムをおこなった。

※この事業は競輪の補助を受けて実施しました。

サイクル・エイド自転車贈呈式（フィリピン カビアオ町）

カビアオ町長より一台ずつ自転車を渡す（フィリピン カビアオ町）

港から寄贈地までの輸送は現地サイクル･エイド委員会が担当（フィリピン）

教師・保護者・行政・NGO が一堂に会す（フィリピン　カビアオ町）

自転車の到着を喜ぶ子ども達（カンボジア　タケオ州）

贈られた自転車に早速乗る子ども達（カンボジア　タケオ州）

自転車贈呈式典には多くの村人が参加（カンボジア　タケオ州）

毎日通学することが可能に（カンボジア　タケオ州）

10 km以上離れた学校に通う子ども達（カンボジア　タケオ町）

補助物件シール貼られた寄贈自転車（カンボジア　タケオ州）

KAFS スタッフが各家庭を訪問し自転車寄贈について説明（カンボジア　タケオ州）

多くのボランティアによって事業が支えられている（カンボジア　タケオ州）

事業について意見交換会・国際交流プログラム（カンボジア　プノンペン）

環境保全・環境教育プログラムタイメンバー参加（和歌山県新宮市）

堺市表敬訪問・意見交換（大阪府堺市）

カンボジア自転車寄贈について報告（大阪府）

サイクル･エイド支援会議規約

（名称）
第１条　本会は、サイクル･エイド支援会議という。
（目的）
第２条　本会は、大阪府内に放置されている自転車等を再生し、これをアジア･アフリカをはじめ、自転車を必要とする子ども達等に贈る、社団法人アジア協会アジア友の会が実施するサイクル･エイド事業が、円滑に推進できるよう助言及び支援を行うことを目的とする。
（組織）
第３条　本会は、前条に掲げる目的に賛同し、推進する関係団体（以下「構成団体」という）をもって組織する。
（委員）
第４条　構成団体を代表する者をもって委員とする。
　　ただし、委員は代理をもって充てることができる。
（委員の任期）
第５条　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。
（役員）
第６条　１　本会に、次の役員を置く。
　　（１）委員長　　１名
　　（２）副委員長　　１名
　　（３）事務局長　　１名
　　２　委員長及び副委員長は、委員の中から互選により選任する。
第７条　１　委員長は、本会を代表し、会務を統括する。
　　２　副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。
　　３　事務局長は、社団法人アジア協会アジア友の会の事務局長をあて、本会の事務を司る。
（顧問）
第８条　本会に、顧問を置くことができる。
（専門部会）
第９条　本会に、次の専門部会を置く。
　　（１）資金調達部会
　　（２）物資調達部会
（会議）
第 10 条　必要に応じ、会議を開催する。

附則　　この規約は平成 17 年４月１日から施行する。
　　この規約は平成 21 年３月 25 日から施行する。（一部改正）

サイクル・エイド支援会議委員名簿

平成 28 年 4 月

〔委員長〕

松井　一郎	大阪府知事

〔副委員長〕

萩尾　千里	公益社団法人 アジア協会アジア友の会会長

〔委員〕

小髙　將根	公益財団法人　大阪国際交流財団 理事長
児玉　達樹	大阪商工会議所 常務理事兼事務局長
竹山　修身	堺市長
田中　誠太	大阪府市長会 会長（八尾市長）
辻野　英昭	大阪府自転車軽自動車商業協同組合 理事長
野澤　隆寛	一般財団法人 自転車産業振興協会 会長
堀井　良殷	公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会 理事長
松本　昌親	大阪府町村長会 会長（千早赤阪村長）
吉村　洋文	大阪市長
渡辺　恵次	一般社団法人 自転車協会理事長

〔事務局長〕

村上　公彦	公益社団法人 アジア協会アジア友の会 事務局長 [事務局：（公社）アジア協会アジア友の会内]

〔顧問〕

アンドリュース　ヤング	元アトランタ市長
下中　融	元熊取町長
永山　一郎	特定医療法人三和会 会長
向江　昇	元泉佐野市長

＊委員。顧問は五十音順

サイクル･エイド事業の経過

○ 平成９年４月：アトランタ市の元市長、元米国国連大使であるアンドリュー･ヤング大使の呼びかけに応え、大阪府、関係市等で委員を構成するサイクル･エイド委員会を発足。

○ 平成 15 年８月：第 11 回サイクル･エイド委員会で、今後の運営のあり方について検討を行うことを決定。

○ 平成 16 年８月：第 12 回サイクル･エイド委員会において、平成 17 年度からサイクル･エイド事業を、社団法人アジア協会アジア友の会が主体となって実施することを了承。

○ 平成 17 年３月：サイクル･エイド支援会議準備会議開催。

○ 平成 17 年４月：社団法人アジア協会アジア友の会が実施主体となるサイクル･エイド事業がスタート。また、サイクル･エイド事業の円滑な推進を図るための支援を行う「サイクル･エイド支援会議」が発足。

サイクル・エイド事業実績の推移（単位：台）

2016 年 3 月 31 日

年度（㊗）		㊗ 9～16 年	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	計
西暦		1997～2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
寄贈自転車台数		15,706	1,890	2,155	2,167	1,550	1,890	680	410	740	701	731	753	29,323
寄贈先	南アフリカ	11,073												11,073
	（コンテナ本数）	*134												*134
	フィリピン	1,080	579	1,090	807	880	510	350		350		350	353	6,349
	スリランカ	1,150	807											1,957
	カンボジア	683	504	725	680							381	350	3,323
	タンザニア	1,180												1,180
	イスラエル	340												340
	タイ			340	340	670	1,380	330	370	350	701			4,481
	ベトナム				340									340
	マダガスカル	200												200
	東日本大震災被災地								40	40				80

年度（㊗）		㊗ 9～16 年	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	計
西暦		1997～2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
協力市寄贈数		16,556	1,040	2,155	2,167	1,550	1,890	680	410	740	701	731		29,323
提供市	堺市	7,057	440	935	940	320	360	140	80	210	200	200	204	11,086
	泉佐野市	2,832	100	300	200	200	200							3,832
	八尾市	2,325		200	220	280	510	200	100	270	200	200	209	4,714
	松原市	1,280	200	150	150	110	200							2,090
	阪南市	542	120	120	120	150	120	120	100	120	101	100	100	1,813
	吹田市	500	100	45										645
	大阪市	612									100	100	100	912
	泉大津市	300		100	101	130	200	100	50	100	100	100	90	1,371
	藤井寺市	299												299
	泉南市	51	80	155	156									442
	箕面市	285												285
	柏原市	250												250
	高石市	30		150	200	120	180	80	30					790
	貝塚市	100												100
	豊中市	50												50
	寝屋川市	50			80	240	150							520
	和泉市	20												20
	四條畷市							30	40	40		30		140
	民間	3										1		4
	保管						−20	10	10					0
	スクラップ	−30					−10							−40

平成 28 年 6 月発行
編集・発行　公益社団法人 アジア協会アジア友の会（JAFS）
〒550-0002　大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F
TEL：06-6444-0587　　FAX：06-6444-0581
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.jafs.or.jp　E-ﾒｰﾙ：asia@jafs.or.jp

この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。
http://ringring-keirin.jp